

第174回

群嶺テクノセミナー

群馬県内の蚕糸絹に関わる遺産の 現状と保存・活用に向けた課題

— 渋川・北群馬郡地域を中心として —

群馬工業高等専門学校 一般教科（人文科学）講師

石関 正典

群馬県では2014年に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録され、富岡製糸場や蚕糸業がわが国の近代化に果たした役割に注目が集まる中で、「ぐんま絹遺産」、日本遺産「かかあ天下—ぐんまの絹物語—」が観光振興や地域活性化策の一環として華やかにPRされている。その一方で、蚕糸絹に関わる石碑や記念碑など、地域の中に埋もれてしまった遺産や、養蚕先駆者の偉業に目が向けられる機会は少ないように感じられる。

また、蚕糸業は蚕の餌となる桑を栽培する「栽桑業」、蚕の卵を製造する「蚕種業」、蚕を飼育し繭を作らせる「養蚕業」、繭から糸を繰って生糸を生産する「製糸業」などから構成されており、例えば富岡製糸場単体を保存するだけでは、その歴史的な意義やシステムを理解することは不可能である。蚕糸絹に関わる文化や歴史を次世代に継承するためにも、地域に埋もれた蚕糸絹に関わる遺産の発掘や、その保存・活用など幅広い視点からの研究が必要だと考えられる。そこで、今回の講演では、かつて群馬県内の主要な養蚕地域のひとつであった渋川市と北群馬郡（吉岡町・榛東村）地域を事例に、この地域の養蚕先駆者の業績や石碑・記念碑、蚕糸関連施設の遺構の実態を概説し、歴史的背景や意義、保存と活用に向けた課題を考察する。

【開催日時】

2023年6月23日（金）

16:30~17:30

（開場 16:00）

【会場】

群馬工業高等専門学校

（前橋市鳥羽町580）

群嶺会館東側 S-103 教室

【申込期限】

6月21日（水）17時

右記QRコード、もしくはこちらのURLからお申込み下さい。

<https://forms.office.com/r/YnrAfdkLH>

第174回 群馬高専 群嶺テクノ
セミナー ※申し込み期限：6月21日
（水）17:00



【お問合せ】

群嶺テクノ懇話会事務局

Tel 027-254-9030 Fax 027-254-9045

E-mail: gunreitec@gunma-ct.ac.jp

校長補佐（研究・地域連携推進担当）
地域連携テクノセンター長

市村 智康

群嶺テクノ懇話会 会長

鈴木 実

【主催】

群嶺テクノ懇話会

群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター

（画像提供）富岡市